

28AA-am10

Gymnocin-A の FGH 環フラグメントの合成

森 巧一¹, 大島 里恵¹, ○坂井 健男¹, 森 裕二¹ (¹名城大薬)

【目的】 Gymnocin-A は赤潮形成渦鞭毛藻 *Karenia Mikimotoi* の培養濾液から単離構造決定された 14 環性のポリ環状エーテル化合物である。我々は、同化合物の全合成に向けて FGH 環フラグメントの合成を行ったので報告する。

【方法・結果】 F 環トリフラート **1** と H 環部位にあたるエポキシスルホン **2** をオキシラニルアニオン法にて連結し、カップリング体 **3** とした。さらに、TMS 基を PPTS で選択的に除去した後、数工程を経て 7 員環ケトン **4** へと誘導した。ここで、DEIPS(Diethylisopropylsilyl)基を、ジ-*tert*-ブチルシリレン基存在下選択的に脱保護してメチルアセタールとした後、最後に、還元的エーテル化を行うことで目的とする FGH 環フラグメント **5** の合成を完了した。

